

学習指導要領	都立鷺宮高校 学カスタンダード
(1) 原始・古代の日本と東アジア 原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 歴史と資料 遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。 イ 日本文化の黎明と古代国家の形成 旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。 ウ 古代国家の推移と社会の変化 東アジア世界との関係の変化、 荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽^{ほうが}について考察させる。 中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 (2) 中世の日本と東アジア ア 歴史の解釈 歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。 イ 中世国家の形成 武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。	遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付く。 旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係を考え、日本が中国の制度・文化の何を取り入れ、何を取り入れなかったかに着目し、日本の独自性について考える。 平安京遷都や東北経営の背景について学び、摂関政治の仕組みや荘園支配の動向、武士団の成長と地方の反乱について理解する。 弘仁・貞観文化および国風文化について代表的作品を学び、その成立背景について考察する。 基本的な諸資料を活用し、推移・変化・因果関係を考察する。 院政など専制的な政治体制の特色を理解し、武士が国家のなかで占める力を強め、中世的な国家が確立する条件が生まれたことを理解する。 院政期の新たな文化の芽生え、新仏教の成立、武士や庶民を題材にした絵巻物の登場などについて考察する。

学習指導要領	都立鷺宮高校 学カスタンダード
ウ 中世社会の展開 日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。 (3) 近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 歴史の説明 歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえて、筋道立てて考えを説明させる。 イ 近世国家の形成 ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。 ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容 幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。 近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 明治維新と立憲体制の成立 開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。	南北朝動乱の長期化の理由や室町幕府の支配機構の特色を理解し、応仁の乱の意義と戦国大名による分国支配の特色について理解する。 東アジアとの交易について、アイヌ社会との関連や琉球の中継貿易、明・朝鮮との様々な形での交流を踏まえて理解する。 歴史的事象には複数の歴史的解釈が存在することを理解し、比較・検証することができる。 ヨーロッパ世界との接触とその影響や東アジアにおける国際関係も視野に入れて、織豊政権の特色を理解する。 桃山文化の建築・絵画・芸能などの特色を理解し、代表的な作品について理解する。 農業・商業の発展や陸上交通・海運の整備、貨幣制度などの具体的な発展とその特色を理解する。 幕藩体制の変容と近代化の基盤形成について、各改革の具体的な政策とその失敗について理解する。 列強の接近の具体的な事例を理解し、鎖国体制や幕藩体制の衰退につながったことを理解する。 日米和親条約・日米通商条約調印の経過を理解するとともに、貿易の特色と国内の社会・経済に与えた影響を理解する。 政府主導の近代化政策とそのねらいについて理解し、朝鮮など近隣アジア諸国に対する明治政府の姿勢について考察する。

学習指導要領		都立鷺宮高校 学カスタンダード
(4) 近代 日本 の 形 成 と 世 界	イ 国際関係の推移と立憲国家の展開 条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。	自由民権運動と立憲体制の成立について流れを把握し、日清戦争後の東アジア情勢と日露戦争との関連について理解する。
	ウ 近代産業の発展と近代文化 国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。	韓国併合後の朝鮮と日本社会の変化について理解する。
	近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。	資本主義が確立する一方、公害問題や労働問題が発生し、社会運動がおこったことを理解する。
	ア 政党政治の発展と大衆社会の形成 政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。	思想界の動向について、日清戦争や日露戦争などの社会情勢と関連付けて理解する。
(5) 両 世 界 大 戦 期 の 日 本 と 世 界	イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会 国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。	社会運動の発展には、第一次世界大戦やロシア革命という国際的な影響があったことを理解する。
	ウ 第二次世界大戦と日本 国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。	都市化・工業化の進展で大衆社会が成立したことを、具体的な事例について考察する。
		第一次世界大戦前後の対外政策の推移に着目し、ヴェルサイユ体制下における五・四運動と三・一独立運動について、その背景とともに理解する。
		世界恐慌が保護貿易主義につながったことや、全体主義の台頭に関係することについて、国内外の事例を知り、理解する。
		中国との戦争が長期化し、東南アジアへの侵攻・英米との戦争へと展開していったことを理解し、戦争の悲惨さについて、加害・被害の両面から事例を取り上げて考察する。

学習指導要領	都立鷺宮高校 学カスタンダード
(6) 現代の日本と世界 現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。 ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。 イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。 ウ 歴史の論述 社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。	連合国による日本占領の特色と、その転換について、東アジア情勢やアメリカの世界政策転換をふまえて理解する。 日本の独立と日米安保体制の意義を冷戦や朝鮮戦争などの国際情勢や日本の地理的条件と関連付けて理解する。 冷戦終結、グローバル化の進展など国際環境の変化を理解し、日本が国際社会で果たした役割について考察する。 国民生活が多様化するなかで、生活意識や価値観に変化が生じたことを理解する。 社会生活にかかわる具体的な主題を設定し、史・資料を考察し、自分なりの解答をレポートにまとめる。